

平成26年7月18日

保護者及び生徒の皆さまへ

大阪府立北野高等学校

## 教育相談のお知らせ

4月にお知らせ致しましたように、スクールカウンセラーとして臨床心理士の中筋裕子さんをお迎えして教育相談を実施しています。9月～10月の教育相談実施日を下記の通りご案内いたします。

### 記

#### 1. 日 時

なかすじ ゆうこ

スクールカウンセラー 中筋 裕子さんの来校日

9月： 3日(水) 17日(水) 24日(水)

10月： 1日(水) 8日(水) 15日(水) 22日(水) 29日(水)

10:30～11:20 (授業中)……保護者からのご相談

11:55～12:35 (昼休み)……生徒本人、又は保護者からのご相談

13:00～14:50 (授業中)……保護者からのご相談

15:05～16:30 (放課後)……生徒本人、又は保護者からのご相談

※ 原則として1回の面談時間は、授業中は50分、昼休み・放課後は40分とします。

#### 2. 場 所 生徒相談室 (本館1階)

(生徒相談室前の階段左下に待合場所がありますので、ご利用ください。)

#### 3. 相談申し込み方法

ア) 保護者の方 事前に必ず電話で下記までお問い合わせ下さい。

TEL 06-6303-5661

大阪府立北野高等学校

保健室 西尾 文 (養護教諭)

岡崎 政美 (養護教諭)

イ) 生 徒 (次のうちいずれかで)

○直接相談室へ行って、中筋さんに話す。

○保健室前の相談予約カードに記入し、予約カード用ポストに入れる。

○保健室の西尾先生・岡崎先生を通じて申し込む。

「自分を知る」シリーズ、第二弾は、「脳の個性について」です。脳科学の分野での研究は飛躍的に深まり、様々な新しい知見が生まれて来ていますね。

普段、私たちは色々なことを知覚し、判断し、表現しています。こういったことをすべてつかさどっているのは脳ですが、脳にも“個性”があると考えたことはありますか。脳の力は、「高い・低い」という物差しだけでは量れません。むしろ、どこをどう使っているかという視点が必要であり、同じ物差しでは量れない部分が多いのです。今回は、そういった脳の「個性」の一部をご紹介します。

大脳は「右脳」と「左脳」に分かれていますね。それぞれの前後にインプットのシステム（情報を入力し分析する）とアウトプットのシステム（行動を計画し出力する）がありますが、「右脳」と「左脳」でその働き方が違ってきます。

左脳の特長…言語、観念構成、算術などに適し、分析的、抽象的、論理的である

右脳の特長…音楽、絵画、図形感覚、幾何学などに適し、全体的、具体的、直感的である



大まかに言って脳システムにおいては、前後左右と4つのエリアに分類できます。誰しも、脳内ではこの4つのシステムが互いに連携しあって働いているのですが、相対的に長く使われているシステムというものがあ、これを利き脳と言うこともあります。

さて、この「利き脳」を見分ける方法はあるのでしょうか。神経心理学の分野では様々な実験や研究がなされており、まだ確実な見分け方というものが確立しているわけではないようですが、ある簡単な方法で目安がわかるという研究もありましたのでご紹介しておきます。

### 《利き脳の見分け方》

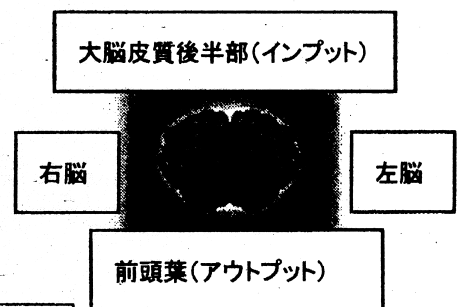
指を組んでみて下さい。どちらの親指が上にきますか？

今度は、腕を組んで下さい。どちらの腕が上にきましたか？

指組→インプットのシステムにおける利き脳

腕組み→アウトプットのシステムにおける利き脳

がわかるとされています。



	指組 (インプット)		腕組 (アウトプット)	
指・腕(利き脳)	左上(右脳)	右上(左脳)	左上(右脳)	右上(左脳)
認知スタイル	直感的理解	論理的理解	直感的表現	論理的表現

男女差がある、固定していない場合があるなど、細かく見て行くと単純には言えないのですが、大まかには、このように分けることができます。

<例> 左上 (インプット右脳)・右上 (アウトプット左脳) のパターン：人のことは名前よりも顔や服装で覚えるが、覚えた材料を加工し、組み合わせて行く作業は言葉を主体にした方法であり、思考方法も言語的に行われている

自分のタイプを意識すれば、それに合った思考方法、表現方法をさらに洗練していくことができるかもしれませんね。